

大阪市立大学 ラグビー部マガジン

Rugby

club magazine

2015

vol.6

学校紹介

ラグビー部紹介

主将インタビュー

新人紹介

就職状況



打倒神戸大！
チーム「市」丸

ついに
始動！



OCURFC

その悔しさが バネになる。

2014年度成績：関西Cリーグ7位

RESTART

**兄弟校でありライバル、
神戸大という存在。**

13年、春の定期戦にて実に11年ぶりに勝利し、ようやく追いついたと思った。しかし、ライバルでありよき目標でもある神戸大は、またも先へ行ってしまった。14年のリーグ戦では20-40と大敗。その後、神戸は全勝優勝。入替戦に勝利し、Bリーグに昇格した。一方、我々市大は目標を大きく下回り、まさかの7位。下部との入替戦という屈辱を味わった。

**自分たちの手で、
自分たちのチームを作る。**

4年前の部員数危機の時、今4回生10人が入部して危機を救ってくれた。今年は彼らが主役だ。個性的でワイルドな部員を束ねるのは冷静なプレーでチームを牽引するスタンドオフ市丸。これまでの経験を活かし、自分たちでしか作れないチームを作つて欲しい。

集大成の4年目。もう悔しい思いはしない。屈辱を味わい、逆に部員の意思が固まつた。チーム「イチガン」で、目指すはBリーグへの昇格だ。



Rugby × CaMpaS LiFe

ROOKIES

野島 大地
黒田 直希
柏谷 豪太
峰 匡宏
花岡 克真
松村 樹
(新2回生)

ラグビーが好きなら、後悔のない選択を。

ラグビーとキャンパスライフの関係はもちろん引き算でもないし、単純な足し算でもない。忙しいほど効率が良くなり、充実した生活を送ることが出来る。苦労を惜しまず、好きなことに没頭する。普通の人の2倍も3倍も濃いキャンパスライフを過ごせるだろう。

大学生活にもある程度経験値が必要だ。昨年新たに加わったこの6人もいい顔になって来た。

大学に入つてまでもしんどいことはしたくない。バイトをしてお金を稼ぎたい。本当にそれだけの理由で「大学ラグビー」を諦めて良いだろうか。

体力作り、なんとなく、先輩に誘われて、理由は何でも良い。ラグビーが好きならば、後悔のない選択をして、今しか出来ない経験を積んで欲しい。



野島 大地
(のじま・だいち)
169cm 65kg、WTB
畠傍→文学部

黒田 直希
(くろだ・なおき)
171cm 65kg、SH
高津→商学部

柏谷 豪太
(かしたに・ごうた)
179cm 70kg、LO FL
四条畷→経済学部

峰 匡宏
(みね・まさひろ)
172cm 74kg、FL
明和→商学部

花岡 克真
(はなおか・かつま)
181cm 80kg、CTB
西京→経済学部

松村 樹
(まつむら・いつき)
171cm 64kg、WTB
菟道→理学部物理

Let's Play Rugby With Us.
If You Like It...



主将 Road Map 2015

Interview

これまでには「最高学年ではない」という甘えがどこかにあったかもしれない。
今年は違う。主将として、スタンドオフとして、チームを牽引しなくてはならない。
目標達成に向け何をすべきか、今年の意気込みを聞いた。

去年はラインアウトの精度が課題だった。



市丸一ラグビーの攻め方の基本は「相手のいない所を攻めることだと考えています。相手の防守人のうち9人の選手が一ヶ所に集まるセットプレーは、絶好の攻撃機会です。しかししながら昨季、スクラムのマイボルキープ率は9割以上と高かったものの、ラインアウトが安定せず約70%の成功率。すなわち3回に1回もの割合でこの攻撃機会を失つてしまっていました。

ギヤップがあるところには強くなるヒントが隠されています。スローラーのスキルの問題か、キャッチャーカリフターか。戦略上の問題か。去年のシーズン中に修正しました。

セツトプレーはラグビーの基本中の基本

きれなかつた部分にも改革の焦点を当て、新チームでは成功率90%を目指したいと考えています。



自分たちに合った攻め方を研究し共有する

ここ数年、「Bリーグでも戦えるカラダ」を目標に筋力トレーニングに取り組んだ結果、まだ十分ではないもののかなりのウェイトアップを果たすことが出来ました。しかししながら、攻めが単調でボールを奪われることもしばしばでした。

これについては、攻め方の認識、共有不足が原因だと思っています。ボールキャリ

へのサポートを強化し、相手にターンオーバーをさせない(ボールを保持する)。ポッドシステムなどの最新のトレンドも研究しながら、自分たちに合った攻め方を確立したいと考えています。

チームは発足したばかりで修正点や得るべきスキルはたくさんあります。しかしながら、着実に強化を果たし、入替戦に登場目標である神戸大学に勝利したいと考えています。

攻撃権を保持する。

2015年度 主将

(いちまる・ともや) 177cm 75kg、スタンドオフ、佐賀西→経済学部(4回生)

創部95年の伝統

明治から大正にかけて創部された東の慶應、早稲田、東京、西の京都、同志社と時を同じくして、大正9年、大阪市立大学ラグビー部は創部した。横断幕に掲げられた「チャレンジ」の精神を受け継ぎ、どんな逆境に陥ろうとも貪欲に勝利を追及してきた。歴史あるOBクラブは、そのような学生の主体性を重んじ、資金面ではクラブハウスの建設など多大な支援を行つていて。

OSAKA CITY UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB 大阪市立大学ラグビー部

創部▶1920年



市大ラグビー部の設備は充実している。なんと言つてもクラブハウスの存在が大きい。他の部がグラウンドから離れた部室棟に部室を構える一方で、ラグビー部のクラブハウスはグラウンドに隣接している。しかも、室内にシャワールームを完備し、洗濯もできる。2階はミーティングルームになっていて、その日の練習をすぐにチェックしたり、試合のビデオを見ることが可能だ。

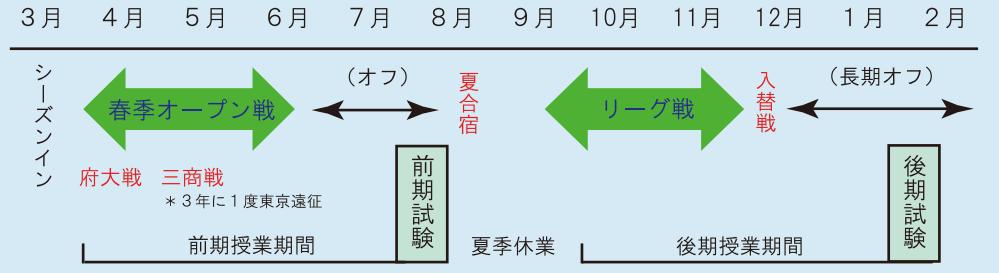
グラウンドは芝ではないが、ナイター設備を備

充実の設備

専用クラブハウス!!



大学の授業の仕組み



練習時間



活動は基本的に週5回行っている。平日の練習は4限後の16時半からで、土曜日は9時半からだ。日曜日は試合が組まれることが多い。授業やバイトで忙しい学生ばかりなので、全体練習は2時間を目処にして、頭を使つて濃密で効率的な練習になるよう心かけている。

夏の間は、活動のペースはそのまま、毎回午前中に練習をしている。午後は十分な時間があるのでアルバイトや資格の勉強なども可能だ。

同じ学部、同じ学科でも受ける授業はひとりひとり異なる。卒業までに取得しなければいけない単位が、専門科目、一般教養、語学などと分かれている。それぞれの条件を満たしていくことになる。たくさんの中から自分の趣向で授業を選ぶから、時間割は自分オリジナルのものになる。だから、ある曜日に授業を固めて、他の日は休みなんてことも可能だ。

出席をとらない授業があるのも大学の特徴。単位の認定は、筆記試験だったり、レポートの提出だったりする。だからと言ってサポートしたり、時間割を友達任せにしていてはダメだ。きちんと管理しないと、卒業前に大変なことになる。時間の使い方にはラグビー部の部員も気を使っている。忙しくなればなるほど、無駄な時間が減つて充実していく。その中にメリハリをつけて、勉強に部活動にパートとに、うまく両立できるように心がけている。

入試情報報

大阪市立大学は、市立の大学で最も歴史が古く、公立大学として最も規模が大きい大学です。8学部を設置する総合大学であり、幅広い分野で学習することができます。

市大8学部の紹介

商学部：経営・生産・消費

経済学部：経済・財政・金融

法学部：憲法・民法・刑法

文学部：文化・社会・哲学

理学部：数学・物理・化学

工学部：機械・電気・建築

医学部：医学・看護

生活科学部：栄養・居住・福祉

正直なところ、大学選びは成績依存度が大きい。特別な場合を除いて、東大に入る実力があるのに、わざわざ他の大学に行く必要はないということだ。一方で、学部は自由に選べる。将来の仕事に直結しないにしても、人生で大きな舵を切ることに違いはない。だから、少なくともどこの学部でどんな勉強をするのかは知りたい。

独断と偏見で、市大8学部のキーワードを挙げてみた。気になる学部があつたらとにかくインターネットでも何でもいいから調べてみよう。どんな勉強をするのか、卒業後はどんな道があるのか。大学への第一歩、今日踏み出せるなら、今日踏み出そう。

*ここに上げたキーワードはほんの一部だし、抽象的な言葉だ。それに理学部や工学部はさらに複数の学科に分かれる。また、農学部や薬学部、教育学部、体育学部など市大にない学部もある。



大学卒業後の進路

商社（伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、etc）
金融（日本銀行、三井住友銀行、etc）
エネルギー（関西電力、大阪ガス、etc）
メーカー（トヨタ自動車、旭硝子、etc）
メディア（毎日放送、J-COM）
不動産（三井不動産レジデンシャル、etc）
交通（京阪電鉄）
ゼネコン（大林組）
進学（理系大学院、法科大学院）
その他（JICA、日本IBM、大阪府警、大学教授、医者、パイロット、etc）

就職活動とは？

ところで、「就活」とは何か。簡単に説明しておこう。

卒業後は企業で働きたいと考えたとき、入試のような仕組みがあるわけではない。無数にある企業から、興味のある企業を探し出し、入社の意思を伝え、試験を受けさせてもらう。実際はもっと複雑だが、とにかく一人で動くことになる。

では、選ぶ立場になつて考えてみよう。就活ができるだけの社会人としての基礎能力を備えていることはもちろんのこと、学生時代の頑張りが気になる。それは、入社後の頑張りなり、考え方反映されるからだ。

もちろん、体育会に所属していただけでは就職がうまくいくほど世の中甘くない。時には反発もしながら、勝利のためにチームメイトと共に考え、行動することを通して、魅力ある人間に成長しなくてはならない。

この理由は3つある。まず、市大自身の評価が高い。次に、一般的にラグビー部の評価がとても高い。そして最後に、市大ラグビー部OBのサポートがしっかりとしているからだ。

就職ではいろいろ迷うもの。そんなときに相談にのってくれるOBがたくさんいるのも、市大ラグビー部の魅力のひとつだ。

そして、ビジョンとして持つておきたいのが卒業後の進路だ。大学入学はゴールではなく新しいスタート、とはよく言われること。

4年後の選択肢としては、進学か就職かに分かれますが、資格取得や大学院進学を考える場合であっても、その先の就職については気になるはずだ。ここでは、市大ラグビー部の就職状況を紹介したい。

結論から述べると、市大ラグビー部の就職状況は非常に良い。左に卒部生の主な就職先をまとめた。文系の総合職、理系の技術職とともに有名企業が名を連ねており、幅広い分野で活躍していることが分かる。

卒部生の主な進路

商社（伊藤忠商事、三菱商事、三井物産、etc）

金融（日本銀行、三井住友銀行、etc）

エネルギー（関西電力、大阪ガス、etc）

メーカー（トヨタ自動車、旭硝子、etc）

メディア（毎日放送、J-COM）

不動産（三井不動産レジデンシャル、etc）

交通（京阪電鉄）

ゼネコン（大林組）

進学（理系大学院、法科大学院）

その他（JICA、日本IBM、大阪府警、大学教授、医者、パイロット、etc）

青年へ

ラグビーは少年を一人前の男にし、
一人前の男にいつまでも少年の心を忘れさせない
スポーツである。

大学ではまさにその両方を味わうことができる。

われわれもまた、時にそんな少年の一人であり、
一人前の男になるべく日々練習に励んでいる。

確かに去年は結果が出なかつた。

でも今年こそ、必ずや成果を出してみせる。

そんなとき、

あと一人、あともう一人、
共に戦ってくれる仲間がいたらどれだけ心強いか。

大切な4年間。

もちろん、やるべきことはたくさんある。

でもラグビーには、その4年間の情熱を
注ぎ込むだけの価値がある。

少年が青年に、そして一人前の男に。
何を通して成長するのか。

君の選択がラグビーであるとうれしい。

監修 友田桂樹 (H21年卒)

製本 水山産業株式会社

印刷・製作 大阪市立大学ラグビー部OBクラブ